

けんぽく

第39号[平成29年2月号]

県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします。



平成29年2月28日発行

「食」と「ふるさと」 新生運動ニュース

編集・発行 福島県県北農林事務所

◆学校給食の地産地消推進を目指して食育出前授業を開催！

平成29年1月25日(水) 伊達市立石田小学校、
2月1日(水) 伊達市立小手小学校において、食育出前授業を開催しました。講師に、伊達学校給食センターに食材を提供している地元農業生産団体「まごころ会」副会長で、御身も野菜と果物を生産する専業農家である八城正人氏をお迎えしました。



石田小学校での食育授業

この食育出前授業は、食育推進に取り組む学校や地域団体等の要請に応じて、講師を派遣する県の食育実践サポーター制度を活用し行いました。



小手小学校での食育授業

授業では、伊達地域の農産物の生産・流通や学校給食の食材について、八城氏の経験を交えながら、分かりやすく話をさせていただきました。



小手小学校での給食

児童からは、「野菜栽培」、「桃の剪定・摘花」、「台風対策」など様々な質問が出され、授業を通して農業について深く学べる機会となりました。また、授業後の感想では、「もっと食材を大切にせず残さず食べるようにしたい」等の声が聞かれました。

この食育出前授業を通して、児童たちには地元の農産物に興味を深めてもらい、たくさん食べてもらえることを期待します。

(企画部)

◆「平成28年度県北地方農家民宿セミナー」を開催！

平成29年2月21日(火)、二本松市の道の駅ふくしま東和会議室において、県北地方振興局と当農林事務所の主催により、「平成28年度県北地方農家民宿セミナー」を開催しました。当日は、農家民宿の既存開業農家、新たに開業を希望する農家、関係機関など約50名の方に参加いただきました。

農家民宿は都市と農村との交流等の受入先とし

て、県北地方では東日本大震災以降も年々増加しており、一般の方や研究者、大学生など様々なお客様が訪れています。今回は、農家民宿の更なるレベルアップを目指すためのセミナーを開催しました。

セミナーの前半は、3名の方から事例発表をいただきました。まず、震災前から大学生の受入を積極的に行っている本宮農家民宿連絡協議会会長 伊藤かおる氏より「農家民宿における大学生の受け入れについて」と題して、これまでの取組状況について報告いただきました。続いて、首都圏より本宮市に移住した本田由香氏より、「農家民宿への宿泊をきっかけに、本宮市に移住して」と題して、大学生のときに農家民宿を訪れた際の印象や移住するまでの経緯についてお話いただきました。次に、NPO ゆうきの里東和ふるさとづくり協議会事務局長 武藤正敏氏より、首都圏の大学生に農家民宿に泊まってもらい改善点等を指摘してもらうモニターツアーの状況とアンケート結果について御説明いただきました。



本宮農家民宿連絡協議会 伊藤会長の事例発表

セミナーの後半は、3つのグループに分かれ、各農家民宿の長所や課題、改善点について参加者同士で話し合いを行い、その後、グループごとにまとめた意見を発表していただきました。雨天時の対応や駅からのアクセスなど実際に感じている課題について、お互いに話し合うことで、参加者は改善に繋がるヒントが見えた様子でした。



3組に分かれてのグループ・ワーク

また、別会場では、新規に農家民宿の開設を希望する方に向けて、管内の各消防署や県北保健福祉事務所、県北建設事務所による、開設に向けた「個別相談会」を行いました。



グループごとに意見を発表

今後、管内の農家民宿がさらにレベルアップし、今後も多くのお客様が訪れてくれることを期待します。

(企画部)

◆平成 28 年度「けんぽく6次化ミーティング」第2回交流会を開催！

平成 29 年 2 月 24 日（金）、福島市のふくしま未来農業協同組合野田支店において、県北地方振興局及び当農林事務所が事務局を務める「けんぽく6次化ミーティング運営会議」が主催し、ふくしま未来農業協同組合が共催する平成 28 年度「けんぽく6次化ミーティング」第2回交流会を開催しました。

この交流会は、管内の6次化を推進するため、関係する事業者相互の交流と情報交換を目的に毎年

開催しているもので、当日は、管内の6次化事業者、生産者、関係団体等24名が参加しました。



講師の石原道隆氏

まず始めに、6次化イノベーターでフリーランス・Lab.代表、クリエイティブディレクターの石原道隆氏より、「6次化商品販路開拓のためのホームページ・SNS活用術～何をどのように発信するか～」と題して講演がありました。石原氏からは、Webサイト及びSNSを立ち上げるに当たり、マーケティング調査をしっかりとした上で販売ターゲットを明確にすること、販売ターゲットによりSNSの種類を使い分ける必要があること、SNSやブログで興味を持ってもらえるコメントのコツなどについて説明がありました。さらにこれらの基本を踏まえた上で、インターネット通販を成功させるポイントについて説明がありました。質疑応答では、検索エンジンの検索結果から商品ページにダイレクトにつながり、そのページ内で注文も受けることができるランディングページについての質問があり、石原氏が丁寧に答える場面が見られました。



交流会会場の様子

続いての交流会では、管内で6次化に取り組む有

限会社まらいに出展いただき、「ふくしまホルモン」の試食提供と参加者による求評、参加者同士の情報交換及び交流が行われました。

若手の農業者が熱心に講師に質問する場面が多く見られ、6次化を進める上で有意義な交流会となりました。

(企画部)

◆平成28年度「田んぼの学校」閉校式・感謝の会が行われました！

平成29年1月31日(火)、福島市立飯野小学校において、平成28年度「田んぼの学校」閉校式・感謝の会が行われました。

この事業は、県が実施する「ふくしまの農育」推進事業を活用して、児童が「農業・農村地域の大切さ」、「環境の大切さ」、「食・命の大切さ」について理解を深め、関心を高めてもらうことを目的として開催されているものです。

閉校式では、最初に、田んぼの学校長の高野久氏より「ほとんどの子供たちにとって初めての体験であり、毎日食べているご飯は大変な作業の積み重ねにより私たちの口に入ることが分かったと思う。今回の体験がいい思い出になる」と挨拶がありました。



田んぼの学校長による修了証授与

続いて、飯野小学校の香野教頭先生より「田んぼの学校では、機械でやれば簡単にできることを手作業でやることによって色々なことを学んだと思います。それを生かして欲しい」と話がありました。また、当農林事務所山内農村整備部長からは「1年を通じて色々なことを学べたと思います。田んぼの学校の中で感じたことを家族に是非話してください

い」との挨拶がありました。その後、田んぼの学校長の高野氏より児童 1 人 1 人に修了証が授与されました。



子どもたちによるおにぎり作り

閉校式の後、感謝の会が行われ、児童が収穫し、自らが握ったおにぎりが豚汁と一緒に振る舞われ、児童 1 人 1 人から、田んぼの学校長や先生方へのお礼の言葉がありました。「自分の手で刈って実感できて良かった」、「減多にできない経験ができて良かった」などの感想が出されました。



収穫したお米で作ったおにぎり

最後に、児童から各先生方へ田んぼの学校で収穫されたお米が贈られました。また、田んぼの学校長の高野氏及び当農林事務所には、児童の学習成果をまとめたファイルが贈られました。

(農村整備部)

◆平成 28 年度「県北地方園芸振興セミナー」を開催！

平成 29 年 1 月 13 日（金）、福島市飯坂町の J A 福島ビル 1001 会議室において、平成 28 年度「県北地方園芸振興セミナー」を開催しました。今年度も全国農業協同組合連合会福島県本部福島営農事業所の御協力による共同開催となり、県北地区の施設野菜農家及び関係機関職員等 60 名を超える参加者が集まりました。

今年度は、施設栽培で注目を集めている「環境制御」をテーマとし、この分野の第一人者である株式会社「誠和。」の齊藤章先生をお招きしました。

講演では、まず温度・湿度・炭酸ガス濃度等継続した長期間測定により自身の施設内環境を正しく把握することが何より重要であること、次に最新の制御技術については、科学的データを引用した説得力のある増収効果の解説があり、最後に環境制御が最大限の効果を発揮するための勘どころなどについて、先進農家の成功・失敗の実例を交えたお話がありました。



株式会社「誠和。」齊藤章先生の講演の様子

参加者からは、炭酸ガス施用のタイミングや時間帯別の温度管理方法等、実践的な質問が相次ぎ、関心の高さと参加者の意識の高さを感じる内容となりました。また、参加した農家の中には、環境制御技術導入に対する県の支援を望む意見も出され、今回のセミナーが県北地方の施設野菜産地のレベルアップと活性化につながることを期待されるセミナーとなりました。

(農業振興普及部)

◆「平成 28 年度第2回県北地方補助事業担当者等研修会」を開催！

平成 29 年 1 月 16 日（月）、福島県伊達合同庁舎会議室において「平成 28 年度第 2 回県北地方補助事業担当者等研修会」を開催しました。

この研修会は、県北管内の市町村、農業協同組合職員を対象に、補助事業を活用し地域農業の振興を図るために実務上必要な知識を醸成することを目的に、具体例を踏まえた実践事例を学ぶ機会として昨年 10 月 16 日に続いて開催し、41 名が出席しました。



講師の深瀬善太税理士

研修会は、深瀬善太税理士（寺田会計事務所）を講師にお迎えし、様々な補助事業の実施主体となっている任意組織について、組織運営上の留意点を踏まえた会計実務と消費税・所得税の税務申告時のポイントなどについて学びました。



熱心に受講する参加者

続いて、当農林事務所職員が、補助事業の事務手続を進める上での留意点を具体的な実務に即した事例を教材に解説しました。

受講者アンケートでは、「分かりやすかった」という感想が多く、補助事業実務担当者としての理解を深める良い機会となりました。

（農業振興普及部）

◆平成 28 年度第2回福島地域農業普及推進懇談会を開催！

平成 29 年 2 月 7 日（火）、福島市の杉妻会館において、平成 28 年度第 2 回福島地域農業普及推進懇談会を開催しました。



普及活動の事例をスライドで説明

始めに、普及指導活動の事例報告として、「いちごの単収向上に向けたハウス内環境改善」、「川俣町山木屋地区の営農再開」の事例を当農林事務所職員から説明しました。

続いて、平成 28 年度の普及指導活動実績評価と平成 29 年度普及指導活動計画（案）について、出席者から御意見・御要望をいただき、福島市や川俣町からは、鳥獣被害防止対策に向けた補助事業の予算確保や、指導者の育成等について要望が出されました。



出席者との意見交換

また、指導農業士会からは、今年度の農産物モニタリングの結果が、米を始め検査のほぼ8割以上が測定下限値未満であったことを受け、農産物の風評払拭に向けた取組を強化するよう要望が出されました。

(農業振興普及部)

◆「平成 28 年度伊達地域農業普及推進懇談会 (第2回)」を開催！

平成 29 年 1 月 25 日 (水)、福島県伊達合同庁舎において、「平成 28 年度伊達地域農業普及推進懇談会 (第 2 回)」を開催しました (当農林事務所伊達農業普及所主催)。管内市町やふくしま未来農業協同組合伊達地区本部、伊達地方農業士会、伊達市・桑折町認定農業者会、県普及指導協力委員、当農業普及所職員の 23 名が出席しました。



伊達地域農業普及推進懇談会の様子

始めに、普及指導活動課題のうち、「鳥獣被害軽減モデル集落の取組について」及び「ICT制御によるきゅうり養液土耕栽培システムの実証について」の2課題の成果発表を行いました。出席者からは、鳥獣被害防止対策は「自分たちがやらなければ」という意識と農業者・地域住民が総ぐるみで取り組むことが大切」との意見や、ICT制御技術に対しては、「他品目での活用に期待する」などの意見が出されました。

その後、平成 28 年度普及指導6課題及び次年度の計画を説明した後、意見交換を行いました。出席者からは、「献上桃の郷」を生かした生産振興策、りんご「ふじ」よりも早く収穫できる新品種の開発、あんぼ柿の放射性物質検査や販売面の課題等多く

の意見・要望・助言をいただきました。



普及指導活動の成果発表の様子

伊達農業普及所では、今後とも出席者からの意見等を参考にしながら、普及指導活動を効果的かつ効率的に実施していきます。

(伊達農業普及所)

◆「平成 28 年度伊達地域直売技術向上研修会」を開催！

平成 29 年 2 月 9 日 (木)、福島県伊達合同庁舎 2 階大会議室において、「平成 28 年度伊達地域直売技術向上研修会～みんなで伊達の恵み売り込もう！～」を開催しました (当農林事務所伊達農業普及所主催)。管内の農産物直売所出荷者や指導農業士、DATEC (ダテック) 会員等、約 60 名が出席しました。



吉田清所長の挨拶

本研修会は、今年度から伊達農業普及所で発行している「伊達な農産物直売所！通信」(偶数月に約 2,000 部発行) で農産物直売所における販売について色々と情報提供してきたところ、「販売について

もっと勉強したい！」という意見があり開催したものです。

まず始めに、吉田伊達農業普及所長が主催者として挨拶し、続く研修会では「伊達な農産物直売所！通信」担当の平野主査が講師となり、「接客（対面販売）のポイント」及び「直売所での販売のポイント」について説明しました。



平野主査による研修会

また、ふくしま地域産業6次化イノベーターの古関弘子氏をお迎えし、商品化を目指している試作品等の試食求評を行いました。求評会には管内外の8事業者から計14品の出展があり、それぞれの商品をPRしていただきました。参加者には、試食後、主に外観・包装、味、価格の視点から、それぞれの商品の利点や改善点について具体的な意見を出して評価していただきました。



6次化試作品等の求評会

最後に、古関氏より販売時の商品PRのポイントや陳列方法など、参考となる具体的な御助言をいただき有意義な研修会となりました。



6次化イノベーターの古関弘子氏による講評

伊達農業普及所では、今後も農産物直売所の活性化や6次化商品開発等を支援していきます。

（伊達農業普及所）

◆「ふくしま県産木材利用県北地方連絡会議」を開催！

平成29年1月25日（水）、桑折町公民館小ホールにおいて、「ふくしま県産木材利用県北地方連絡会議」を開催しました。

この連絡会議は、国・県の出先機関と市町村の公共事業実施部局で構成され、福島県産木材の利用拡大を推進するため、毎年開催しているものです。

まず始めに、各部局における木材利用の進捗状況等についての情報交換を行ったのち、事務局から公共施設の木造化及び木質化等の推進に資する情報提供を行いました。



連絡会議による情報交換

また、現在、桑折町が建設を進めている町立幼稚園の設計を受託している有限会社フォルム建築計画佐藤武徳取締役より、過去の実績を含めた公共建築の木造・木質化の事例紹介をいただきました。



(有)フォルム建築計画佐藤取締役による事例紹介

最後に、事例紹介にもあった幼稚園の現場見学を行い、各委員に公共建築への木造・木質化への理解を深めていただきました。



建設中の町立幼稚園の現場見学

今後も、管内における公共施設の木造化・木質化の促進を図るべく、連絡会議を開催していきたいと考えております。

(森林林業部)

伊達市梁川町の山舟生羽山生活改善グループの「平成28年度農山漁村女性・シニア活動表彰・優秀賞（経営局長賞）」受賞おめでとうございます！

平成 28 年度農山漁村女性・シニア活動表彰において、伊達市梁川町の山舟生羽山生活改善グループが、優秀賞（経営局長賞）を受賞されました。

地域の食生活改善活動と、地場産物の活動や伝統的な食文化を次世代に継承することを中心に 30 年に渡る活動が評価されたものです。

表彰式など詳細については、次号「けんぼく農林ニュース」（第 40 号）で御紹介します。おめでとうございます！

(企画部・伊達農業普及所)

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動県北地方推進本部の構成員活動紹介

ふくしま家づくりネットワーク

“ふくしまの木で家をつくるグループです！”

私達は平成16年「ふくしまの木で家をつくるグループ」として発足し、県北地区の木材卸業・製材所、建築士、大工・工務店で構成しています。以下の活動を通じて2010年、「顔の見える木材での家づくりグループ50選」に、2011年、「同65選」に選ばれました。

(1) 活動の目的

- ①「ふくしまの木＝地元材」を使うことにより、森林の手入れが進み、森林を守り育てることにつながります。元気な森林は地球温暖化の主な原因である二酸化炭素を吸収し、地球環境にも貢献します。
- ②構成員がネットワークを組むことにより、『地産地消』のシステムを構築し、職人の技術・技能の継承と向上、次世代の職人の育成に努めます。

(2) 地産地消・地域材の持続的な活用

- ①構造材・造作材共に福島県産材をできるだけ使用します。県産材は県木材協同組合連合会・森林組合等との連携により調達し、地域林業の活性化につなげます。
- ②耐久性を確保するため、木材の質・強度及び含水率の表示された木材を使います。
- ③地域独自の素材を見直し活用することにより、木材以外の素材についても「地産地消」を目指します。

(3) 主な活動

- ①森林見学会・伐採現場見学会開催（バスツアーにより一般のお客様も参加）
- ②原木市場の見学会開催（原木丸太、流通システムなどの説明）
- ③製材所の見学会開催（丸太から製材する過程や、加工木材の含水率・強度などの管理体制を見学）
- ④会員が設計、施工した住宅の構造見学会と完成見学会の開催（年2回ほど、地元新聞等に開催案内を掲載、受注にもつなげる）

(4) その他の活動

- ①薪割り会の開催（一般の方に案内、会員は薪の準備・切断のサポート）
- ②青空木工教室（一般の方に案内、加工した杉材を使ってイス・プランターなどの製作体験をサポート）
- ③きなりコンサート開催（きなり展示場で毎年開催、少人数の管楽器の演奏を聴きながら、展示場の木の空間を体験してもらう）
- ④自然食料理教室開催（展示場の台所を使い、木の空間の中で食を楽しみながら、食と農の話を聴講）
- ⑤イベント展示への参加（パネル・模型・パンフレットなどを展示し、来場者にPRし相談に応じる。他グループとの情報交換）
- ⑥きなり展示場を使った講演会・勉強会（毎年1～2回開催）



森林伐採見学会



ふくしまの家「きなり」展示場(福島市)



「きなり」コンサート

福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-521-2596 FAX 024-521-2850

ホームページ <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36210a/>

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

